

都議選と区政

「東京五輪」への対応問われた都議選…区が子どもたちの五輪観戦動員中止決定

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員

区政報告
ニュース

805

2021年7月11日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメール: アドレス
kouji.office@gmail.com

パブリックビューイング、公道の聖火リレーも中止…感染の拡大で当然…今こそコロナ対策に集中を

7日、荒川区教育委員会は、オリンピックパラリンピック学校連携観戦（子ども動員）について、ようやく中止を決定しました。この問題では、当初より熱中症の危険に加え、コロナ感染のリスクも大きく中止を求める声が広がっていました。日本共産党区議団は、申入れ、質問で繰り返し中止を求めてきました。都議選でもこの問題が大きくな争点ともなりました。

区は、中止の理由として、若年層への感染力が強い変異型ウイルス発生などコロナ感染の収束が見込めない、移動は公共交通機関で密が避けられない、常時マスク着用のため熱中症の危険性が高い…などをあげています。当然の判断です。

この間、東京都は、感染拡大状況からパブリックビューイングや公道での聖火リレーを中止を決めており、子どもたちの観戦動員も全面中止すべきです。五輪中止を求めます。いずれも感染爆発も予測される中で対応です。一方五輪は、政府、東京都とも強行する構えです。東京は、感染拡大の「第5波」の真っただ中といえます。五輪中止を決断しコロナ対策に集中するべきではないでしょうか。



「五輪中止の意見書提出」求める陳情に横山区議が賛成討論を行いました

6月区議会最終日の7月8日、横山幸次区議は、日本共産党区議団を代表して「東京オリパラ中止・区議会意見書採択を求める陳情」の賛成討論に立ちました。

前日の7日には、東京の新規感染者が920人、政府が6週間の緊急事態宣言発出を決めたと報道されましたが、感染爆発下での五輪開催は誰が考えてもありえません。討論では、感染拡大の中で人命に大きなリスクとなる各国の感染状況やワクチン接種の遅れ、無観客論が出始めました。しかし海外から数万人が訪れても検疫は水漏れ状態、五輪開催で都市から地方に人の移動など国内の人流増加は避けられません。住民の命を守る地方自治体の議会として五輪中止の意見書の提出を強く求めました。



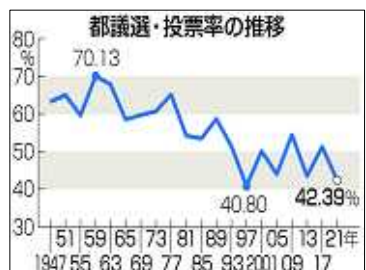
都議会議員選挙・荒川区の結果

都議会議員選挙の結果は、立憲民主党はじめ多くの方の応援をいただきましたが、残念ながら議席を得ることが出来ませんでした。

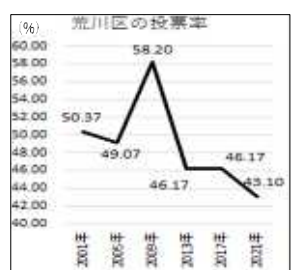
全都では、市民と野党が共同し、共産党に一本化した2人区の文京・日野など4選挙区勝利、立民、ネット、無所属に一本化した渋谷、中野、1人区小金井、武蔵野など8選挙区で勝利するなど大きな成果が作り出されました。日本共産党は、改選前の18から19議席へ前進、野党第一党、女性議員が19名中14名で引き続き女性議員第一党となりました。

投票率は、全都で史上2番目、荒川区は過去最低の43.1%でした。

政治は、暮らしと直結しています。投票率アップで政治は、変えることができるのか。みなさんのご意見をお寄せください。



投票日 当日有権者数 投票率	荒川区	
	(今回) 2021年7月4日 168,970 43.10%	(前回) 2017年7月2日 165,955 52.94%
鈴木けんいち (共産・新)	11,885 16.60%	17,394 20.19%
けいの信一 (公明・現)	19,493 27.23%	24,005 27.87%
たきぐち学 (都ファ・現)	17,138 23.94%	21,234 24.65%
さきやま知尚 (自民・元)	14,249 19.91%	18,135 21.05%
山川 ゆうな (無所属・新)	5,023 7.02%	-
山本 ぞう (諸派・新)	3,789 5.29%	2,734 3.17%
他	-	2,632 3.06%
合計	71,577	86,134
		無効票1,253



裏面 荒川区の感染状況、区政のトピックス、街の話題あれこれ...など

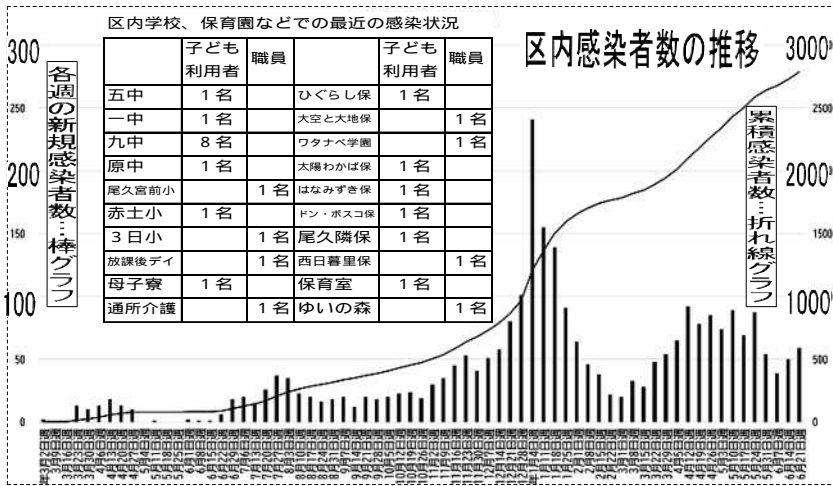
定例法律相談会

9月6日(月)
横山事務所
18時～20時

8月はお休みです

弁護士と横山区議が相談をお受けします。生活相談は、随時受付しています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

荒川区政の各種情報・話題など...横山幸次区議のホームページをご覧ください。



荒川区も感染拡大が続いています ワクチン接種と大規模検査・補償を

荒川区内のコロナ感染者は、全都同様7月5日時点で16日間連続で前の週の同じ日を上回っています。

区内施設では6月に入ってからも学校・保育園などで子どもたちや職員の感染が報告されています。変異株との関係もあるのではないのでしょうか。

いま、ワクチン接種とともに大規模な検査が必要です。また感染者の変異株検査も行い傾向を掴むことが求められます。また事業者や医療機関への十分な補償と生活支援が必要です。

区政トピックス…

8月から放置自転車撤去が7日から3日に短縮されます

自転車は、老若男女問わず区民の便利な移動手段です。しかし放置自転車は、狭い道路・歩道などに置かれ、通行の邪魔になり、緊急時の避難や救助の妨げになってしまいます。

これまで荒川区は、放置自転車に警告札を貼って、駅前など放置禁止区域では即日撤去、それ以外は、7日後に撤去していました。今回、8月1日から7日間を3日間に短縮して撤去することになります。区は、今後「自転車利活用基本計画」を策定するようですが、やはり放置自転車対策の基本は駐輪場整備だと思います。

日数	自治体数	自治体名
1日経過後	2区	千代田、渋谷
3日経過後	7区	墨田、江東、板橋、練馬、台東、世田谷、足立
5日経過後	1区	中央
7日経過後	11区	北、文京、新宿、品川、目黒、中野、豊島、葛飾、江戸川、港、杉並
14日経過後	1区	大田

ぜひみなさんのご意見、ご要望などお寄せください。

燃やしていた「廃プラスチック」をリサイクルへ回すモデル事業を区が検討

気候変動・地球温暖化対策は、待ったなしの課題です。ところが荒川区は、大量の廃プラスチック（廃プラ）を燃やして、温室効果ガスを排出してきました。日本共産党区議団は、以前から資源回収に廃プラを加えて回収しリサイクルに回すことを求めてきました。

今回荒川区は、廃プラスチックを分別回収する事業（プラスチックの資源化事業）の実施に向け、2021年度下期を目途にモデル的に回収（1,000世帯程度）を実施するとしています。これはぜひ進めてほしいと思います。

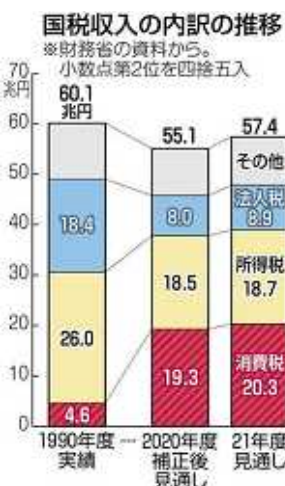
しかし廃プラのリサイクルは、結局自治体と住民の負担になります。大量生産で大きな収益を上げている生産者の責任は出てきません。やはり生産者がきちんと廃プラのリサイクル経費を負担する制度を作るべきです。

また、使い捨てに廃プラを削減、再利用できるものに代えることなども課題であり、リサイクルだけでは解決しません。



今週の消費税込、所得税を抜き最大のデータ 20年度、初の20兆円超

財務省が5日発表した国の2020年度一般会計決算は、消費税込が前年度比14・3%増の20兆9714億円。消費税が所得税を抜き、初めて最大の税収になりました。当初の見込み以上の伸びとなつてます（左グラフ）。10%増税の影響が大きいようです。



消費税は、収入のない人も負担するなど所得の低い人ほど負担が大きくなる逆進性を強く持つ悪税です。コロナ禍で苦しむ国民への支援の第一歩として消費税の5%減税と大企業や富裕層への課税強化に舵を切る時ではないでしょうか。

ネット上でこんな写真を見つけました。電車のつり広告ですが、「テレワーク・オフビーク通勤」とオリンピックのため深夜も含め「臨時列車」大増発というものです。これまで、政府と小池都政は、感染拡大を抑えるため、不要不急の外出自粛、営業時間短縮や休業要請、大学はオンライン事業などなど国民に我慢を強いてきました。しかし、オリンピックは、深夜までの開催で移動のための鉄道など公共交通機関を動かすようです。オリンピックは全て特別では、国民は納得しません。しかも感染拡大のリスクが付いてきます。やはり#五輪は中止！ 横山幸次



オリンピックと国民への要請はダブルスタンダード？